

「モノ」とともに「心」をお届けする ハートフル ギフトステーション

ジャパンハウス

ジャパンハウス(世田谷区粕谷、菅原義則社長、03・3306・5432)は、明治39年に上野池之端七軒町に漆器の製造卸問屋「小林盆舗」として創業、現在では、プライダル事業部、アミューズメント事業部等の各部門に分かれて、オリジナル商品の企画開発と販売を行っている。

中でも、先代社長がいち早くニーズを察知し、同社の代表的な部門になっているのが、プライダル事業部であり、晴れの舞台にふさわしい「メモリアルギフト」を関東近郊の結婚式場やホテル等に納めている。また、アミューズメント事業部では、主にアミューズメント施設等の企業顧客向けの「ポイントサービス」事業の企画・運営を行っている。

平成22年には、東京の今昔物語をテーマに、東京の名所9箇所を江戸と現代で対比するパッケージジ



同社が取扱う漆器



空港等で大人気の「日本百景」

にミニ大福(大福、草餅、イチゴ、プリン)が16個入った「日本百景」の販売を開始した。おまけに江戸時代の古地図が付いていることもあり、今では羽田空港や成田空港、浅草仲見世通り、東京スカイツリー等で人気のお土産商品となっている。

「多様化するお客様のニーズに対応して、贈り物とともに『心』をお届けしたい。常にお客様が喜ぶ姿を想像しながら、新たな商品開発に取り組んでいきたい」と菅原社長が語るように、最近では、あらゆるニーズに対応するため、防災用品や長期保存食も手掛けている。

「古き良き商品の継続的な販売と新しいニーズに合わせた商品作りに重きを置き、『モノ』とともに『心』をお届けする」をモットーに今後も同社は、新たな商品を世に送り続けることだろう。

詳しくはホームページにて！

<http://www.japanhouse.co.jp/>